

Game with perfect Res Meus～学園王位争奪逆 NTRゲーム～

コンセプト：運命の赤い導火線

● ● ● ep0.Re;spect each other<相思相愛>

未⇒好き♥

未希、君のことが好きなんだけど君はどう？

いきなり言われても困るよね♥

考える時間をあげる♥

判断材料もあげる♥

未希の顔かわいいよね♥

未希のおっぱい大きいよね♥

どんな下着つけてるか気になるよね♥

スカート目に行っちゃうよね♥

脚元見て♥縋りつきたい♥嗅ぎたいって思ってるよね♥

じゃあ答えでてるじゃん♥

口に出して♥

未希が好きって♥

口に出すこと許してあげる♥

どうぞ♥

はーい♥

聞いたー？今のきりちん？

霧⇒聞こえないわよ

負け犬の声を聴くための耳じゃないもの

未⇒自分の声が聞こえてことー？かわいそーw

<言葉にならない苛立ちをあらわにする>

霧⇒んがあああ…！！！！

未⇒あはははははw

はーい♥

きりちんのまけー♥

未希の勝ちー♥

あんまイラつくと眉間の皺取れなくなっちゃうぞー♥

霧⇒おかしい

絶対おかしいわよ

こいつ殺すことが法律で許されてないのが不条理でならないわ

未⇒ぶっそうだなー

こんなすぐ殺すなんて言っちゃうご主人様より未希を選んだのは正解だよねー♥

未希は殺すどころかイカせてあげるから♥

ねー♥

うーん♥

いいこ♥いいこ♥

また未希のためにこんなワンちゃん飼育してくれてありがとね♥きりちん♥

霧⇒そっちこそ私の残飯処理いつもありがとね♥未希ちゃん♥

未⇒残飯…

霧⇒貴方は私が男を育てて、貴方がそれを熟したところ収穫してると思ってるけどそれは思い違いよ

実際は私が十分堪能して出がらしになった、味のなくなったガムを貴方はおいしそうに食べてるのよ

幸せな舌をしてるわよね♥羨ましいわ

未⇒おー好き勝手言いなさりますなー

敗者の戯言、気持ちいいからもっと言ってよー♪

次はなに言うのかなー♥

聞かせてー♪

霧⇒ちっ（舌打ち）

未⇒どんなに言おうときりちんが大事に育てた犬がご主人様として未希を選んだ

この事実は変わらないのにねー♥

そんなんだから愛想つかされちゃうんだぞー♥ねー？

未希のワンちゃん♥

うーん♥

お返事えらいねー♥

霧⇒はあ…

帰る

未⇒あっ♥まってー

生徒会副会長さーん♥

霧⇒なによ

未⇒生徒会長さんに伝えてほしいことがありますてすねー♥

霧⇒貴方が伝えなさいよ

貴方の犬でしょ

未⇒でもきりちん、仲間外れにすると不機嫌になるじょん

前だって、未希と会長ちゃんが遊んでたらイライラしてたじょん

霧⇒そのじょんじょん言うのやめなさい、むかつく

というよりそれはあれはそういうあれじゃない

未⇒あれってなにか気になるじょん

霧⇒ちっ…（舌打ち）

未⇒こわあ…

霧⇒そもそも生徒会に無関係な貴方がノコノコ生徒会室にやってきて、

目の前で元下僕と楽しそうにしている様を見せつけられてイラつかないわけないでしょ

未⇒やっぱ会長ちゃんのことまだ気にしてるんだー♥

霧⇒違う

未⇒未希が誘うと楽しそうに会長君虐める癖にー♥

霧⇒違う

ストレス発散

未⇒ツンデレだなあ…かわいいぞ♥

霧⇒違う

上から目線ほんとかわいくない

未⇒へへーん♪そりゃ未希が上だからねー——♪当然だよねええー♥

霧⇒ちっ…（舌打ち）

未⇒それにきりちんがかわいいって言ってくれなくても

この奴隷くんがかわいいって言ってくれるからー♥

下から見上げることしかできないきりちんにはまぶしすぎてこのかわいさがわかんないみたいだからねー♥

ねー？♥

<きりちん無言で踵を返しドアを開ける>

未⇒まーって♥待って待って待ってー♥

待ってよー霧様ー♥

霧⇒貴方、私に喧嘩売りたいのかお願いしたいのかどっちよ

未⇒両方♥

霧⇒悪質極まりないわね

未⇒きりちんで遊ぶの楽しいー♥

霧⇒貴方は私の玩具じゃないし、不愉快

貴方の撲滅をコバエの撲滅と同じくらい願ってるわよ

未⇒コバエ…

霧⇒頼んでもないのに集ってくるところとかよく似てると思わない？

未⇒思わないー；；

霧⇒あらそう、かわいそう

未⇒なにもかわいそうじゃなーい；；

きりちんひどーい；；

霧⇒どの口が言うのかしら？

未⇒この口ー♪

見て見てー♪

今日リップの乗りすっごいよかったんだよー♪

霧⇒知らんわ

これ以上引き延ばすならその口引き裂いて口裂き女にするわよ

未⇒こりゃ口が裂けても言えませんなー♥

霧⇒いや言いなさいよ

未⇒お後がよろしいようで♪

霧⇒なにもよろしくない

未⇒不機嫌でもツッコミを忘れないきりちん、未希だーい好き♥

霧⇒つぎ込んだ時間をことごとく賽の河原にしてくれる貴方のこと私、大嫌い

未⇒仲良しー♥

霧⇒どこがよ…

ほんとに頼みたいことがあるなら早くいいなさい

もう私の脳内では貴方の口の裂け目は既に後頭部に差し掛かってるわ

未⇒こわー…

でもでも話が聞いてくれるきりちんだー…

霧⇒大好きなのはわかったから早く言いなさい

未⇒相思相愛になっちゃった♪

霧⇒あっ?!

未⇒ひえー…

んでね♥

近いうち風紀委員が制服着こなしとかそれにまつわる校則の法案出すから反対せずに賛成して何があっても通して♥って伝えておいて

霧⇒貴方風紀委員じゃないでしょ

未⇒未希にとって大事なことを未希の友達がやってくれるみたいだから協力してあげてるの

霧⇒貴方いつも注意されてるものね

未⇒そうー♪だから変えてもらうのー♥

ついでにねー♥

一部男子生徒の射精管理する法案も出すからよろしくー♥

霧⇒は?

未⇒露出増えたりしたら自分で性欲制御できない男の子もでちゃうじゃん

っていう名目で服装規定緩和の抱き合わせで盛り込んでもらったの

霧⇒誰に

未⇒風紀委員長くん、今日も未希の下着で餌付けしてあげたー♥

主席で将来有望だったみたいだけど

未希がちょーっといたずらしてあげたら壊れちゃった♥えへっ♥

未希の言い付けで成績最下位、模試も最低点にされてるのにすごい幸せそうな顔してんのー♥
うけるーw

霧⇒はあ…

それはいいとして、生徒会どうこうの話じゃないでしょ

そんなの生徒会で通したところでもっと上のところで一蹴されるわよ

未⇒先生…じゃなかった未希の手駒がなんとかしてくれるって♥約束してくれたよ♥

だから生徒会で通してしまえば後は自動的に可決されるようになってるからそこが最後の壁ってことで通してね♥

霧⇒はあ…末期ね、こども

未⇒他人事だねきりちん

霧⇒それはそうよ

私にとってはどうでもいいもの

私にとっては私の一番がいればそれ以外はいらない

だからこそそれを阻害する貴方は特に私を苛立たせるの

未⇒今更だけどなんできりちん生徒会にいんの？

霧⇒なりゆき

当時は会長よさそうって思ってたし

未⇒今も未練タラタラなくせにー

霧⇒うるさい

でもあいつを操っても無駄だと思うわよ

未⇒なんで？きりちんも反対するわけじゃないでしょ？

霧⇒任期

そろそろ交代

その風紀委員長さんもお役御免じゃないかしら？

未⇒あーそっかー

まー風紀委員はノエノエがなんとかするとしてー

生徒会はまずいですなー

きりちん生徒会長になってよ

霧⇒嫌

そもそも嫌だし貴方のためになるというのが嫌

私の辞書の生き恥の具体例に記載されてるくらい嫌なことよ

未⇒愛憎入り混じっておりますなー

霧⇒憎しみしかないわよ…勝手に汚泥を混ぜないで頂戴

未⇒今のとこ生徒会長候補はいんの？

霧⇒い…いないわよ

未⇒へえーw

いないんだーw

ほんとー？

霧⇒なによ

だいたい生徒会長は全校生徒の投票で決めるのよ？

分かるわけじゃない

未⇒いやいやあんなの出来試合みたいなもんでしょ

面子出そろった時点で確定みたいなもんじゃん

んできりちはそういう出た瞬間当選確定って子を知ってるんだ♥

霧⇒人の話をちゃんと聴きなさい

未⇒聴いてるから言ってんのー♥

もーう♥かわいいなー♥

んじゃなぜ隠すか…当ててあげよっか♥

未希にその子を取られちゃうのが怖いから♥

霧⇒違う

未⇒いや、違わないね（岸辺露伴風に）

もし候補の子がいてその子がきりちんと無関係ならきりちはその子を言えばよかった

だって遅かれ早かれ未希が物にするだけだから

きりちんには関係ない

霧⇒私はいないって言ったんだけど？

未⇒んでそれがおかしい♪

なんできりちんが全部把握しているのか

次の生徒会の選挙は同学年だけでなく下級生も含まれててその全体の状況を把握するのは難しい、

にもかかわらず「いる」、「いない」と答えることはそれらを把握していることになる

しかもきりちは頭がいいから不用意な断定は避ける、使うとすれば確定的な状況でしか使わない

普段のきりちん'なら「知らない」と曖昧に答えるのが普通で、「いない」と断定するのはおかしい

じゃあなぜ断定したのか？

該当する人物がいる

でも隠したい

隠したいのはそれがきりちんと関わりのある近い人物だから

そのために強い断定で否定した

違う？

霧⇒私が全部把握している可能性は？

未⇒そんな人が生徒会に興味がないわけないなって未希思うなー♥

きりちんがそんな人間であるより、未希の略奪に怯えてるかわいい女の子の方が可能性高いよね？

ね？未希話聴いてたでしょ？

霧⇒ほんとと貴方、私の神経を逆なでることにに関しては天才的ね

未⇒いえーい♪相思相愛♥

霧⇒最悪…

未⇒どっちにしても生徒会長になったら未希が食べちゃうのにねー♥

んでどの子？

霧⇒今の生徒会で書記やってる子、積み重ねもあって人望もあるし、近くで接すると分かるけどあの会長より見どころあるしまぁ間違いなく彼ね

未⇒んで、きりちんはその子に唾をつけてると

霧⇒言っとくけど私が言わなかったのは貴方が怖いからじゃないわ

未⇒ほーう…

霧⇒貴方が知った時には手遅れにしておきたかったの

未⇒へえーw自信あるんだw

霧⇒当然♪

未⇒へえーwところでさー

これは？

霧⇒あーそれ？

未⇒この子、未希に負けてるんだけど

この子も自信あったんじゃないの？

霧⇒それはあれ、囧

彼との関係ができてあがるまでの時間稼ぎのつもりだったんだけど残念ね

未⇒うわぁ…きりちん、未希もためらうようなこと涼しい顔でやるよねー

霧⇒そりゃそのまま私のものそのままに越したことはないけど、

貴方がいるでしょ？

貴方は手段を選んで勝てる相手じゃないもの

未⇒そりゃ光栄なこと

霧⇒余裕ぶって

未⇒何回やっても同じなのに

霧⇒吠え面かかせる

未⇒負け惜しみのレパトリー増えるだけなのにね♥

霧⇒次に勝つのは私

未⇒未希の勝ち揺るがない♪

霧⇒なぜなら

未⇒だって♪

霧⇒私が一番だから

未⇒未希が一番だから♪

未⇒あはっwやっぱ相思相愛じゃん♪

霧⇒ほんと…ヤな女…

<きりちん、そう吐き捨てると静かにドアを閉め退室>

●
● ep1.Re;gal principal<帝王定理>

霧⇒ごめんね♪遅くまで付き合わせちゃって

これ、お礼♪

貴方はクリームと角砂糖3つ、でしょ？

甘いのが好きねー貴方

私には飲めないわーそんなの

ん？

当たり前じゃない

貴方だけじゃないわ

他のみんなの好みも把握してるわよ

覚えようとしなくても自然と♪

だって副会長よ？私

貴方も会長になるならこれくらいの観察力あって然るべきよ

っということで、問題♪

私はいつもコーヒーに何を入れるでしょうか？

当てられたらそうねー♥

ちょっといいこと♥してあげる♥

私をある程度意識して見てたら分かると思うんだけど…どうかしらねえ？

なんならさっきヒントもあったんだけど気づけたかしら？

正解♥

答えはブラック

何もいれない

流石、次期生徒会長さん♥

謙遜いらない

貴方で決まりよ

それとも貴方の副会長を信じられないのかしら？

くすっ♥

やっと見せてくれた♪困った顔♪

卒なくこなす優秀な人

それは確かに恰好いい…

でもだからそういう人の困った顔には何倍の価値があるの

そして私はそういうのを見るのが好き♥

だからもっと困らせる♥

ねえ♥

何書いているの？

知ってて聞いている♥

議事録♥でしょ？

いじわる？

ムかつく？

「そんなことはないです」

って貴方は言う♥

ふふっ♥

困ってる♥

かわいい♥

かわいいっていう表現、

みんな褒め言葉として半ば思考停止で使うけど私はそう思わない

もちろん容姿が優れてたり挙動が親しみやすく愛らしいという意味もある

でもそれは自分にとって害を為さない安心感が根底にあって初めて成立する

だから人は動物園の檻の中の肉食動物をかわいって言える

自分の安全が確保されてるからこそ出せる言葉ってわけ♥

さて、それを踏まえてもう一回言うわね♥

かわいい♥

貴方今、私に無害だって思われてる♥

こんなに近距離にいながら舐められてる♥

なぜなら貴方はこの扱いに甘んじているから♥

ね？

何気ない言葉一つ、少し掘り起こせば世界が変わるでしょ？

貴方のその困り顔と一緒に♥

ふふっ♥

かわいい♥

そういう弱み見ること、好きなのよねえ♥

そしてそれを私だけに見せてくれる強い人が大好き♥

そんな子に副会長の上、生徒会長をやってもらいたいなー♥

なんて♥

ね？

今はまだほど遠いけど♥

だってそうでしょ？

今どこ見てる？

議事録なんて見てない♥

職務放棄♥

コーヒーも冷めてる♥

余所見しないの♥

私を見て♥

私のために見せてくれるかしら？

貴方の弱いとこ♥

ちゅっ♥

くすっ♥

見せてくれてありがと♥

あっ…それを言うなら私もかしら？

イメージと違うでしょ？

一日中真面目な顔してる堅物だと思われてるみたいで

みんなそう言う

ほんとはそんなことないのに

ほんとの姿はこっち♪

別にいいのよ

堅物だと思われようと

誰彼構わず見せたいわけじゃなし、

見せたい人に見せてればそれで♥

だからこそ価値があるんでしょ？

そして…

その見せたい人が貴方♥

ねえ♥

私にもーっとその困った顔見たいんだけど

どうしたら見せてくれるのかしら？

そうだ♥

くすっ♥

観察♥

さっきの続き♥

もう一個クイズ♥

今日の私いつもと違うところあるんだけど

それはどこでしょうーか♥

あっ♥

髪見た♥

残念♪

髪なんか切っていないわよ

ふふっ♥

分かりやすい♥

そんなとこ普段見てない癖に

もっと貴方がいつも見てるとこ…

ふふ♥

どこかしらね？♥

お手上げ？

いいの？

私がこれを言うってことは、普段貴方が私のどこを見てるかバラされるわけだけど

言うわよ♥

黒タイツ♥

いつもは60デニールだけど今日は80デニールでしたっ♥

ね？

いつもより脚透けてないでしょ♥

目、逸らさない♥

今更逸らしてもこれまでのスケベなチラ見が帳消しにならないんだから

よく御覧なさい♥

こっち向いて♥

霧→下腹部、当ててんだけど？

タイツの…私の足の…肌ざわり♥

いつも上履きで隠れてるとこ♥

上履きに密閉されてるとこ♥

籠った匂いはぜーんぶここ♥

このタイツが吸ってる♥

見てるだけでほら？

匂い立つでしょ？

ふふっ♥

何とか言いなさい？

感想♥

んっ♥ふう♥

霧→ふふっ♥

力を込めるほど

貴方の力が抜けていく♥

かわいい♥

なんでかしらねー？

踏んでるの下腹部なのに、まるで頭の中、足で踏みつけれられてるように感じるの♥

別のことで気を逸らそうとしても

この足のなまめかしさから目が離せない♥

勝てない♥

顔に思いっきり押し付けてもらって籠った匂いを嗅ぎたい♥

踏んづけてもらって私と貴方、その格差を重さで感じたい♥

頭を足で押さえつけられ、床に擦りつけられることで自分が私の足置きであることを刷込まれたい♥

そんな汚い欲望がぐるぐる♥

ふふっ♥

私貴方のことよく観察してたから分かるの♥

これくらい♥

今日は見たことない貴方を見せて頂戴♥

困った顔は見せてもらったから次はそうねー♥

次は貴方の頭の悪そうな顔♥

見たいなー♥

ここまで来れば簡単に見せてくれるわよね？

ここ♥

さっきから私の踵にちょっとあたってるそれ♥

なーに準備しちゃってるのかしらね？

そのちんぽ♥

脱ぎなさい♥

そしたら♥

こーれ♥

つまみあげてるけど見えない領域♥

貴方が見たがってるスカートのなか♥

見せてあげる♥

そう♥見せてあげるだけ♥

私はそれ以外何もしない♥

見てるだけ♥

でも貴方みたいなのはそっちのほうが効く♥

でしょ？

触ってもらえない♥

触らせてもらえない♥

するとちんちん構ってもらえなくて自分でしはじめちゃう♥

ほら♥

イジろうとする♥

かわいい♥

いいわよ♥

いじって♥

見ててあげるから♥

いつもやってる

女の子に見せちゃいけないかって悪いとこ

私だけに見せるの♥

ふふっ♥

捨てられる寸前のチョークみたいな大きさ♥

かわいい♥

あーあー♥

悦んじゃった♥

男として否定されると痛いちゃうの♥

かわいい♥

皮を必死にシコシコ♥

それそのまま引っ張りあげられるかしら♥

あはっw

よく伸びるのねー♥それ♥

ほら♥その真上に私の足置いてあげるから、そこまで伸ばしてごらんなさい♥

あっ♥

腰浮かせないの♥

皮だけ伸ばして私の足とタッチ♥

ほらもう少し♥

頑張れ♥

できるかしらー？

はい♥

残念♪

もっと上にいっちゃいましたー♥

ふふっ♥

ちょっと意地悪？

嫌いになった？

くすっ♥

ありがと♥

私も好きよ♥

だから足上げてあげたのよ♥

見たかったでしょ？

スカートの中♥

約束は守るの♥

ついでに足の裏も♥

あっ♥

鼻動いた♥

嗅いじゃうんだ♥

変態♥

もちろん織り込み済みだけど♪

だって足の匂いが好きじゃない人じゃないと私の犬にできないもの♥

ふふっ♥

嗅ぐだけよ♥

くっつけちゃ駄目♥

私は貴方に触らないし

見てるだけ♥

貴方も私に触らないし

見てるだけ♥

動かしていいのはその上下運動だけ♥

その方がみじめでしょ？

こうして目の前で足の指を動かしても♥

見てるだけ♥

くすっ♥

舐めたくてうずうずしてる♥

どんだん生唾が出てる♥

パブロフの犬になってくわね♥

でもね♥それじゃ足りない♥

だって私の犬にするから♥

ほらこれが貴方の大好きな餌よ♥

食べちゃ駄目♥

でもむしゃぶりつく真似はしていいわよ♥

舌出して、舐める真似♥

そう♥言い換えると

レストランの前で出されてる食事を眺めながらショーケースのガラスを舐める

それと同じことを

私の目の前でやりなさいってこと♥

こう表現した方がより今からしようとしてるが如何にキモいか分かるでしょ？

だからやって欲しいの♥

私は貴方の醜いところをもっと見たいの

私の命令をなんでも聞いて

私のためにさらけ出す貴方が見たいの♥

見せてくれる？

貴方は私の足をどう舐めようとしてるのか？

ふふっ♥

偉くお上品に舐めるのね？

目の前に私の足の指の間があつて

貴方はそんな品性のある舐め方をするのかしら？

この足よ？

こーれ♥

ほら♥嗅ぎなさい♥

ふふっ♥

しないわよね？もっとむしゃぶりつくようにするわよね？

分かってるならやりなさい♥

くすっ♥

そう♥それよ♥

真面目な顔から見せるみっともない顔♥

私しか見られない顔

私にしか見せちゃいけない顔

んっ♥さいっこう♥ふう♥

いいこねー♥

それじゃ♥

舐めてみる？

私の

あ・し♥

そうよねー♥

目の前にこーんな綺麗で蒸れた足があるの♥

据え膳よねー♥

据え膳食わぬは男の恥♥

そもそも女性の足を舐めることは恥じゃないのかしらね？

ふふっw

なーんて♥

それじゃ♥

私の言うこと聞けるわよね？

大した要求じゃないでしょ？

さっきから貴方にしてる命令♥

貴方の好物でしょ？

私、貴方の本性を知ってるから♥

真面目で知的な顔して

優等生♥

でもその正体は

スケベ♥

私の足がこーして

右へ

左へ

足を動かすと自然目で追っちゃう

それだけじゃない

被虐体質♥

この足の踏み台になりたい

汚れを押し付けられたい♥

体重をかけられたい♥

女の子の下にいたい♥

つまり

マゾ♥

いつもそんな思いを抱えながら女の子に頼むこともできずバレたら終わると思いながら欲望だけが溜まってく迷子の変態ワンちゃん♥

それが貴方の正体♥

私だけがそれを知ってる♥

それを私は独り占めしたいの♥

だから約束して欲しいの♥

私の前でだけワンちゃんになること♥

私が貴方を犬にしてあげる♥

ね♥

私の前でだけ貴方はち尻尾代わりにちんちんふりふりしちゃうかわいいワンちゃん

私からの餌で生かされるワンちゃん♥

友達にも♥

先生にも♥

親にも言えないでしょ？

私たちだけの秘密♥

なってくれる？

私の犬♥

悩んでる？

くすっ♥

嘘つけ♥

決まってるくせに♥

はいあーし♥

嗅ぎなさい♥

こーら♥

舐めない♥

言うこと聞かない犬にあげる餌はないわよ♥

そして...ね？

これが貴方の本心♥

言葉の「好きです」よりよっぽど伝わる♥

でしょ？

分かったわ♥

貴方が約束するなら私も♥

私が貴方を責任持って飼ってあげる♥

だから♥

いいわよ♥

舐めて♥

霧→んっ♥

そうそう♥

美味しい？

私の足

それとタイツ♥

当たり前よね♥

おててすごいことになってる♥

今貴方が舐めてるもの、

それは私から出た汗が上履きの中で発酵されちりやほこりと共に熟成されたもの♥

貴腐ワインみたいね♥

菌と果実でできたあまーいあまーいお酒♥

ほら♥

口開けなさい♥

うわぁ♥

口の中ぬるぬる♥

舌に乗ってるの分かる？

私の指♥

ほら♥動く♥

んっ♥

そんなにがつついて♥

変態ワンちゃん♥

あはっw

これどこまで奥につっこめるのかしら？

これはどう？

大丈夫そうね♥

じゃあもう少し♥

あっこれあれかしら？

のどちんこ♥

指先にぶらんぶらん当たってる♥

あはは♥

苦しそう♥

苦しい？

そう♥

でも止めてあげなーい♥

奥まで啜え込むの♥

私の命令よ♥

でも苦しいことばっか命令するわけじゃない♥

苦しさは気持ちよさのスパイスだから♥

足で目隠し♥

見えないから私の足の味に集中できる♥

ついでに鼻に近いから強く感じられる♥

私の足の匂い♥

嗅げ♥

発酵した汗の味

私の綺麗な足から香る汚れの匂い

癖になる♥

ぜーんぶ貴方への餌♥

私はそのためにこれを履いてる♥

私の脚がより綺麗に見えるように♥

私の脚により高い価値が生まれるように♥

それもこれも貴方のため♥

他の駄犬のためじゃない♥

私は貴方だけを虜にできればいい♥

そうそんな風に♥

上も下も涎まみれ♥

汚い♥

醜い♥

でも素敵♥

ぜーんぶ私が出させたもので♥

私が独り占めできるから♥

その涎だらけの顔も

とろけきったよわーいお顔も

私のもの♥

大好き♥

その顔他の誰にも見せちゃダメ♥

そのよわーい顔、私に独占させるの♥

みんなの前では立派な生徒会長、模範生♥

私の前では裸で首輪をつけられて媚び売る犬♥

高い位置にいるほど最低が輝く♥

ね？ゾクゾクするでしょ♥

弱い顔♥

他の人、特に女の子に見せちゃいけない顔♥

その顔したらバレちゃう♥

女の子に支配されたいこと♥

女の子に恥ずかしいとこ見てもらいたいこと♥

見せた瞬間

下等生物の烙印押されるかわいい顔♥

そんな顔他の人に見せちゃダメよ♥

他の、特にどっかの破廉恥ビッチの泥棒猫女に付け込まれるから♥

そんなのに負けるバカ犬にあげる餌はない♥

貴方は私だけに負けるの♥

分かる？

分からない？

それじゃ教える♥

椅子から降りて寝転びなさい♥

敗北を教えてあげる♥

お腹むき出しで

ちんちん震わせてかわいい♥

床に寝そべて、見上げれば私♥

残念♥

スカートの中は見せない♥見えない♥

でもって眼前には貴方の大好きなタイツがある

この状況で貴方は期待する

霧→踏まれたい♥

よね？

それが貴方の望むエンディング♥

それじゃ少し実験してみようかしら♥

霧→んっ

今脱いだタイツ

これを

こーして♥

目の前に近づけてあげると貴方は期待する♥

顔にタイツが♥

匂い立つタイツの匂いで心拍が高まる♥

でもさせない♥

遠ざける♥

残念♥

もどかしさから♥

腰を浮かせる♥

くねらせながらアピールする♥

タイツ欲しい♥

タイツ欲しい♥

タイツに埋もれて深呼吸したい♥

はい♥

もう一往復♥

ダメよ舌なんて出しちゃ♥

手も伸ばしちゃダメ♥

今の貴方の手はそのチョークを擦ることにしか使っちゃダメ♥

脚もダメ♥

脚はピンと伸ばしたまま♥

寝転がったままでしかオナニーできなように癖付ける♥

貴方は手も足も出ない不自由なオナニー人形♥

不自由♥

タイツももらえない♥

不幸♥

不自由、不幸、抑圧、ストレス

できないことだらけ♥

気持ちよくない♥

でもそれが必要♥

気持ちよくなるにはこれが必要♥

たとえば…

果実が甘くなるにはどう思う？

収穫前に水を与えないこと♥

飢えさせて

甘さを凝縮させるの♥

メロンの皮のヒビは水不足でできるヒビなの♥

私は今それをしてる♥

美味しい敗北のために♥

虐めてる♥

敗北を教えてあげる

気持ちいい敗北に必要なこと♥

それは

勝つこと♥

耐えて♥

耐えて♥

はちきれそうな金玉をそのままに我慢♥

挑発されても♥

誘惑されても♥

ちんちん煮えたぎらせて生殺し♥

でかいおっぱいにも♥

太い太ももにも負けず♥

見えそうで見えないチラリズムにも負けず♥

射精を我慢♥

目の前で脱ぎたてのタイツをぶら下げられても

タイツの匂いが鼻孔をくすぐっても

我慢♥

負けたいからこそ勝つの♥

女の子の前で勃起を晒したいから勃起を我慢♥

女の子に嗤われたいから嗤われるためのプライドを保つ♥

着飾った女の子の前で全裸になって無様な射精を晒したいから貴方は普段服を着る♥

そうして飢えて空腹でたまらなくなって

他の女の子に声をかけられるだけで下着の中我慢汁だらけになるくらい

匂いを嗅いで涎まみれになる禁断症状が出るくらいストレスを与えたところで

餌をあげるの♥

私が♥

貴方に♥

霧→じゅうう♥れえろ♥

一滴の唾液♥

霧→んう♥ああむ♥

んふう♥

一秒のキス♥

霧→一足のタイツ♥

霧→餌付けができるのは私だけ♥

貴方は私の餌が口にしてはいけない♥

貴方自身が気持ちよくなるために♥

唾液美味しい？

はい♥

もう一滴♥

霧→じゅうう♥れえろ♥

霧→美味しい？

タイツも一緒に嗅ぐともっとおいしいわよ♥

私の脚をより綺麗に見せるために頑張って汗を吸ってくれたタイツ♥

貴方の大好きな蒸れた匂いがいっぱい♥

足の裏の部分の汚れは私の汗の結晶♥

貴方が口にできるご馳走♥

綺麗に舐めとりなさい♥

私が脚を綺麗にするのは貴方を見惚れさせるため♥

私がタイツを履くのは貴方へ餌を与えるため♥

私が貴方に餌を与えるのは依存させるため♥

舌突き出す♥

ふふっ♥

かわいい♥

私だけがその顔を独り占めできる♥

貴方の射精を独り占めするのは私♥

そうでしょ？

霧様♥

二人きりのときは霧様♥

そう呼ぶの♥

返事♥

いくわよ♥

私の命令でイクの♥

霧→返事♥

霧→そう♥

弾はいくつ詰められてもいい♥

他の女の子に言い寄られても詰め寄られてもいい♥

でも引き金を引くのは私♥

貴方のペニスの引き金は私が引くの♥

そうでしょ？

返事♥

霧→貴方が模範生になるのは

私に踏まれるため

霧→貴方が積み上げる努力は

私に踏まれるため

霧→貴方の地位が私の踏み台♥

踏ませなさい♥

霧→いくら偉くても私の前では貴方は全裸

女王と愚民

私はレースとヒールを纏って貴方の頭を踏みつぶす♥

霧→重圧をかけて貴方を苦しめる♥

霧→貴方が高いほど貴方はもっと気持ちよく踏まれることができる♥

私は高い位置にいられる♥

霧→積み上げなさい♥

私が踏みつぶしてあげる♥

汚い愚民汁と一緒に♥

霧→今踏んでる頭は誰のもの？

霧→私のもの♥

霧→貴方の射精は誰のもの？

霧→私のもの♥

立派なところも

小さいところも

しょうもないところも

お馬鹿なところも

かわいいところも

ぜーんぶ私のもの♥

霧→そうでしょ♥

霧→捧げるの♥

霧→貴方のその射精は誰のもの？

霧→答えなさい

霧→そう私のもの♥

イケ♥

愚民♥

霧→イケ♥

イケ♥

イケ♥

愚民の汚い汁は全て私に捧げる♥

女王がとことん搾取してあげる♥

霧→愚民の築いた玉座で私は愚民の奴隷があくせく作ったコーヒーを優雅に飲んでいきたいの♥

ね♥

素敵でしょ♥

霧→おしまい♥

いい顔♥

弱くて虐げたくなるかわいい顔♥

誰もこないから今はその顔でいいわよ♥

霧→あーあ

すっかり冷めちゃってる♥

霧→ね？

こっち向いて♥

口開けなさい♥

霧→ごくっ♥

んちゅううう♥

これ頑張ったご褒美♥

甘いでしょ？

苦いコーヒーも甘くなる♥

苦しさが気持ちよさ変わるように♥

その顔

私だけにずっと見せてね♥

ワンちゃん♥

● ● ep1.5.Re;ndezvous<約束>

<場所：ep1と同じく生徒会室 時制：ep1の直後 二人の興奮が静まり 止まっていた業務をやり既にやり終えたところ 日は既に沈みあたりは真っ暗>

霧⇒ふう…はいこれでおしまい♥

だいぶ時間かかったわね

屋上の鍵、直そうと思ったけどこれは明日ね

ううん…貴方は悪くないわ

貴方で遊んだ私が悪いの

そうでしょ♥

でもほんと、すっかり真っ暗♥

流石に私たち以外生徒は帰っちゃったかしら？

そうよね♥

それじゃ

二人きりってわけね♥

なにドキドキしてんの？

はやく帰るわよ♥

二人でね♥

いいでしょ？

ワンちゃん♥

<未希ちゃん乱入>

未⇒おっじゃましまーす♪

霧⇒うわぁ… <げんなり>

未⇒いたー♪

きりちーん

一緒に帰ろー♪

霧⇒はぁ…

未⇒そっちの子がきりちんの言った書記の子ー？

へー君、下級生？

かわいいー♥

あーごめんねー♪

未希だよ♪

天峰未希♥

きりちんの親友♪

霧⇒違う

未⇒きりちんのは照れ隠しだから気にしないでねー♥

霧⇒違う

未⇒ね♪きりちんってかわいいでしょ？

霧⇒貴方にかわいいって言われたくない

<お構いなしに続ける未希ちゃん>

未⇒未希って呼んでね♥

よろしくね♪

霧⇒聞きなさい

未⇒せっかちなー

自己紹介くらいさせてよー

霧⇒なにしにきたの

未⇒迎えにきたー♪

霧⇒頼んでない

未⇒分かってないなー

友情は見返りを求めない♪

霧⇒そもそも発注してないんだけど

なに？

いつにもまして支離滅裂ね

焦ってんの？

未⇒はー？

霧⇒そもそもおかしいのよね？

授業も部活もまともに出ない貴方がこんな時間までここにいることが

未⇒寝てましたー♪

霧⇒残念だけど屋上の鍵は直しておいたわ

未⇒嘘だー♪ちゃんと今日も寝ましたー♪

霧⇒そう嘘よ

明日直すもの

未⇒だよねー♪

霧⇒へー…

未⇒あー…

ところでさー

霧⇒待ちなさい

未⇒っべえ…

霧⇒貴方が鍵の壊れた屋上に入入りしていること

そこで居眠りしてることは貴方と私の共通の情報だから分かる

すごーくよくわかるわ

でもそれを明日直そうとしていることは

少なくとも貴方の知るはずのない情報じゃあないかしら？

未⇒いやー

霧⇒なんで知ってるのかしら？

未⇒ははw

相思相愛？

霧⇒貴方、困るほど茶化し方に精彩がなくなるのね

そういうとこかわいいと思うわよ♪

未⇒うるさーい！

きりちんにかわいいって言われたくなーい！

霧⇒私の日ごろの屈辱を少し味わってもらえたようでうれしいわ

お礼に言動から貴方がここに来た理由を推察してあげる

屋上で居眠りして貴方は起きると

何かしらの手段を使って私が明日鍵を直そうとしているのを知る

だってそうよね？

明日からその場所で眠れなくなると分かってて、のほほんとそこで眠るのは違和感あるもの

そしてそれを阻止すべく私のとこへやってきた

ついでに私のワンちゃんに唾をつけるのも含めて、でしょ？

未⇒っばきりちんこえー…

霧⇒手段は置いておいて貴方の目的はよーく分かったわ

鍵は絶対に直す、がんじがらめにする、絶対に

未⇒あちゃー…お気に入りだったのになー

やっばダメかー

ん？ってかさ

霧⇒なに？

未⇒きりちんが直すの？

霧⇒そうよ？ダメ？

未⇒職人さん？

霧⇒貴方、私がどれだけ貞操帯を直してきたと思ってんの？

未⇒とんでもない説得力で返ってきたあ…

霧⇒中には貴方が無理やりこじ開けようとして壊れたのもあったわね

ほんっとあれふざけないでほしいわ

未⇒未希としてもとっくに心も体も未希のモノになってのにちんちんだけなんないから困るんだよね
ーあれ

霧⇒そもそも平然と人の所有物を壊そうとするのが間違いと気づきなさい

未⇒でもいつの間にかそれやなくなったよね

霧⇒貴方のせいよ

生半可な場所に鍵を隠せば見つける

鍵の管理をしないようにするためにダイヤル式にしてもダメだし

鍵を見つけられない工夫を施せば見つからないからと無理にこじ開け壊す…

ほんと大変なんだからあれ…

ああ…思い出したら頭痛くなってきたわ…

未⇒もうやんないの？

霧⇒それで貴方が手を引いてくれるなら喜んでやるわよ

未⇒いや、まったく

霧⇒でしょうね

貴方が無茶するし

私としても結局それで縛っても心を完全に縛れるわけじゃないし

ちんちんだけ握ってそれ以外は貴方に堕ちてる

そんな状態で私とつながられてても空しいからやらないわよ

<小声で>

霧⇒…あれ？

未⇒苦労してますなー

<考え事をしていたきりちん、未希ちゃんに話を振られ空返事気味に応答>

霧⇒あーほんとよー

全く誰のせいで…

未⇒んじゃあ、きりちん既に今回の準備は済んでるってわけだ

霧⇒準備？

未⇒この子への下ごしらえはできたのかって聞いてんの♪

見たところ済んでるようだけど

霧⇒なぜ？

未⇒タイト

履いてないよね？

この子のために汚したってことだよ？

<聞こえるか聞こえないかの音量で>

霧⇒盗聴はなしか…

<元の音量で>

霧⇒ええ♥

いっぱい私が汚したものを悦んで汚してくれたわ♥

ね？

未⇒そうなんだー♥

きりちんの気持ちよかったー？

でも未希もーっと気持ちいいこと知ってるよ♥

<耳元で>

未⇒大好きな人を裏切ってする射精のこと♥

あっずいた♥

霧⇒こら離れなさい

未⇒これは勝負が見えちゃったかなー？

霧⇒気に入らないわね

全部計算通りって顔

未⇒だって全部計算通りなんだもん

霧⇒鍵は防げなかったのにね

<しよげた感じで>

未⇒それは計算結果がそれだけだただけだもん…

霧⇒ふーん計算結果ねえ…

未⇒な…なにか？

<きりちん、やはり未希に特殊な何かがあると確信し不敵な笑みを浮かべる>

霧⇒なんとなく♪

未⇒にや…にやにが？

<とりあえず詮索は後にすることに決め、すっきりとした笑顔で返す>

霧⇒なんでも♪

で？下ごしらえが済んだら貴方はどう料理する気かしら？

未⇒へ？

霧⇒計算してあるんでしょ？

結果を教えてもらえばそれがお互いにとって最短距離にならないかしら？

未⇒それはわかんないけどー♥未希的にはデートしたい♥

霧⇒まさか彼と二人きりなんて言わないわよね？

未⇒ちがーう

三人で♥

いいでしょ♥

霧⇒ほーんそうくるねー

何企んでるか分からないけど

正面からくる分には構わないわ

いいわよ♪乗ってあげる♥

未⇒やったー♪

なんも企んでないよー♪

きりちゃんと君とデートしたいだけー♥

霧⇒はいはい

行きたいところはあるの？

ちなみに深海魚はもう勘弁よ

未⇒えーおもしろかったじゃん！

じゃあ…

霧⇒ツチノコもダメ

未⇒ぶー

じゃあ毒生物博覧会

霧⇒定番選んだら死ぬ呪いにでもかかってんの？

ってか私も私よ

なんで貴方に聞いているのかしら？

未⇒きりちゃん未希の彼氏♪

霧⇒最悪の最悪…

未⇒んじゃ分かった！

お買い物行こ♪

未希買いたいもんいっぱいあるしー！

食べたいもんもいっぱいあるしー！

もーうわがままだなー

霧⇒どっちがよ…

未⇒えへへ♪

ってことで突然でごめんね♪

問題なかった？

そっかー♪

っぱきりちん見る目あるねー♥

かわいい♪

霧⇒私への謝罪は？

未⇒さーせん♪

霧⇒ちっ…<舌打ち>

未⇒こわー

霧⇒さて、鍵の件も顔も見合わせたことだし

今日のご用件はそれで終わりかしら？

未⇒うわぁ…露骨なぶぶつけムーブ

霧⇒私の脳内では既に貴方の顔めがけて幾百のぶぶつけをぶっかけ終えてるわよ

未⇒そんな食べれないよー

霧⇒死ぬほど帰って呪詛かけてんのよ

未⇒そんなことしなくても帰るって

ねー♪

一緒に帰ろ♪

手つなご♪

霧⇒おい

未⇒んにゃー…

もーう本気にしないでよー

でもさー

一緒に帰るのはいいでしょ？

未希一人で帰んのいや

霧⇒ほんっとなんでこんなのがいいように嵌められるやつばっかなのかしら？

いいけど彼に触らない分かった？

未⇒彼氏くんが車に轢かれそうになっても？

霧⇒屁理屈こねるな

私が手握ってるから大丈夫なの

未⇒ほっ？

<きりちん、表情がぎこちなくなる>

霧⇒あー…えーと…

未⇒おやおやーw

霧⇒あーもうやだ…

未⇒言いますなーw

妬けますなーw

霧⇒あーなんかごめん

いや違う

らしくないわね

未⇒ほんっとらしくないねーw

<きりちん、照れ隠し>

霧⇒うるさいうるさい！

未⇒へーい

霧⇒ついでにちょっと部屋出て待ってなさい！

すぐいくから

<さすがにこれ以上いじると危害が及ぶと察した未希ちゃん、部屋を出る。>

未⇒おっじゃましたー♪

霧⇒はあ…

あー違うの…

違うっていうのは

えーっと繋ぎたくないとかそういうことじゃなくて…

違ったのはタイミング…

あそこで言わなくてもっと段階踏んで言うつもりだったの

だから…せめて改めさせてくれるかしら？

んっ

手、握らせて♡

ん♡掴んだ♡

くすっ♡

ビックリした？

私の手冷たいでしょ

よく人から心配される♡

でも貴方が繋いでれば暖かくなれる

言っとくけど私、絶対離さないから♡

貴方も離しちゃダメだから♡

これ、約束♡

<頬にキス>



###

この作品は色んなものを詰め込んでいるからか、思い返すと色んなことがよぎります。

それは実際に詰め込んだことから、詰め込んだ記憶のないものまで雑多です。

最近この作品を見返すと、特にこの作品に詰め込んだ覚えのない2人の人物のことをよく思い浮かべます。

1人はテニスのアンディ・マレー氏。

もう1人は野球の三浦大輔氏。

全くジャンルも違う、国籍も違う2人をなぜ想起させるかといえば、

彼らは実力に比して思うような栄光を得ることができなかった人物だからだと考えます。

アンディ・マレー氏はテニス史上最強と呼ばれるBIG3、俗に言うテニス星人たちと世代を同じくしたが故に、

彼らにことごとく優勝を妨げられるキャリアを過ごし、わずかばかりに優勝を勝ち取るも、そんな化け物たちと相手した無理がたたり日常に支障が出るレベルの怪我に苦しみながら現役を退きました。

三浦大輔氏は横浜大洋ホエールズに入団し、その後継球団である横浜ベイスターズにて98年に優勝日本一を経験するもその後、田舎の夜より真っ暗で名高い暗黒ベイスターズ時代に突入。

勝ちに恵まれず、一度は他の球団との契約を結べる権利、FA権を行使しましたが紆余曲折あり、結局残留。

最終的に彼は日本プロ野球歴代9位の三振数を誇りながら、大投手の節目となる200勝を果たすことなく横浜一筋を貫いたまま現役を引退しております。

そんな彼らのもう1つの共通点をあげると、そんな不遇とも言える境遇に対する姿勢です。マレー氏はグラドスラムの1つ全豪オープンCMに出演し、以下のようなセリフを残しております。「彼ら(BIG3)がいなければ僕はもっと優勝できただろう。でも彼らがいなければ僕はここまで強くなれなかった。」と。

一方、三浦大輔氏はインタビューにて以下のような質問を受けました。

「違う球団にいればもっと勝てたと思うか？」

それに対し、氏は、

「ない。俺は横浜の三浦大輔だから」

と毅然とした表情で答えております。

強がりかもしれませんが。本当は心の奥深くに悔いや恨み辛みを滾らせてたのやもしれません。ですがそうであったとしてもかように不遇にへこたれず前向きに奮い立つその姿勢には心打たれるものがあります。

この作品を噛み締めた時そんな2人の一連の生き様が想起され、きりちんにある質問がじんわり浮かび上がります。

「未希ちゃんがいなければ、貴女は思い描く一番を育成できたか」と。

彼女はこう答えるでしょうか。

少なくとも僕の中の彼女は顔を曇めながらこう答えます。

「ええ、あの子がいなければ私はもっと楽に私の理想とするワンちゃんを育てられた。ほんと邪魔よ！なんなのあの子！心の底からムカつく！何度も死ねと思ったし、今も弛まず思ってる。

でもね…私の理想だけで作った一番より、彼女を乗り越えて作った一番の方が絶対に強い。それに彼女がいなければ私は自分の願いを強く叶えたいと思えなかった。それはホントのことよ。」

そう答える頃には私の中の彼は克明に強く優しい表情を浮かべております。

そんな様子を思い浮かべた時、僕は彼女の容姿以前に気高く奮い立ち続ける彼女に惚れたんだなと心底得心いたします。

皆さんもそんなきりちんを大好きになっていただけたら僕は嬉しいです。

もちろん未希ちゃんもです。

別に放置してたわけでも、ついでもありませんよ。

ただこの作品は最初からきりちんが輝くほど未希ちゃんも呼応するように輝くと信じながら作り、事実その通りになってますので。

彼女には次の作品においてはラスボスになっていただきます。

この作品、僕は一切意図的なことをしておりません。

意図的というのは未希ちゃんを最良にして展開をゆがめることであり、その逆も然りです。

そのために、勝負の決まる最後の戦いにおいて、ほぼ全ての創作物で描かれる勝負に間違いなく存在する「あるもの」を作品から引っこ抜きました。

書く前はまさか本当にそんなものができるのかと半信半疑だったのですが、するっと書いてしまったのでそのまま皆様にお渡しいたします。

とにかくこの作品で繰り広げられる戦いは限りなく平等かつ対等なものであり、違うのはおっぱいの大きさと未希ちゃんが未来を見る能力があるということだけでしょう。

不公平ですか？

でも皆さん大好きですよ？

無能力者が能力者に泥臭く勝つ展開。

僕は大好きです。

僕はこれまで全ての作品において何かしらの勝敗を描いてきました。

どんなプレイであろうとどんなに苛烈であろうとそこは一貫してるつもりです。

僕が描きたいのは女の子様に負けることで、その先にあるのはいつも女の子様が華々しい勝利なのでから。

そんな勝負を書き続けた僕ですが、このような作品を生涯で一度でも描けたことは死んで墓場に入っても誇りに思います。

僕にとってはそれほどの作品です。だから採算度外視で作成します。

誰のためでもなくこの作品を書いた、作ったと自分で言い張りたいから作ります。

そうは言ってもシコれないのであれば、成人向け音声作品というプラットフォームじゃなくて、より低リスクである文字で出せばいいってことになりますからちゃんとシコれます。

蔑ろにしたつもりは一切ありません。むしろこの話とシコリティをどう両立させるか、むしろシナジーを發揮するにはどうしたらよいかを考えに考えました。

その結果としてちゃんと逆NTRしてますしちゃんとマゾ向けになってます。未希ちゃん、きりちんどっちを好きになってもいいような作りにもなってます。

誰かが言いました。人生は死ぬまでの暇つぶしと。

オナニーで費やすことも必死でなにかを成し遂げようとすることも突き詰めれば、隙間時間を埋めるだけの行為にすぎません。

そこに元来高尚も低俗もなく、決めているのはいつも社会であり、そこに属する者たちの価値観です。

そして僕は僕の暇つぶしのためにこの作品を書きました。

身勝手を承知でお願いいたしますが、もしよろしければ貴方の貴重な暇つぶしの時間を僕の暇つぶしの作品に使わせてください。

次回作で会いましょう。